

Anchor2022年8月号掲載原稿

こころの総合診療室 Canal 勾当台

宮城県仙台市青葉区本町 2-4-8
510ビル 201

院長 桂 雅宏

×

ゲスト ダンカン

(2022年5月取材)



一人ひとりのこころを真摯に見極め その人に合った治療法を探していきたい

——早速ですが、桂院長がこころのクリニックを手掛けるようになった経緯からお聞かせください。

元来、人間観察——人の心のありように目を向けるのが好きでした。医学の道を志して大学で学ぶ中、悩みながら真面目に生きている人の心のほつれを治してあげたいと考え、この分野を選んだんです。研究も好きでしたが、仲間と一緒に臨床に向き合うことが私自身の幸せだと見極め、開業に辿り着きました。専門職のネットワークを広げ、ここ仙台の精神医療向上にも寄与したいですね。

——現代は、心の問題を抱える人が増えていると聞きます。

生きづらさを感じる人が増え、またコロナ禍では孤立しやすい社会でもあると思います。精神科の診断法は、時代や科学・工業の発展に応じてアプローチも変わりますが、丁寧に症状をお聞きし、患者さんが抱えている問題や悪循環の成り立ちをとことん探るのが精神科医の真骨頂です。

繰り返しお会いする中で、見立てや治療方針の確度を高めていきます。ご本人も自分が抱えている問題の正体に気付くことで安心感が生まれ、自分で対処できるようになると自信も生まれます。大切なのは、症状と薬を短絡的に結びつけるような治療ではなく、一人ひとりの患者さんのその時々状態や背景となる問題に合った治療法を探ることです。精神医療は人対人ですから、最終的には対人関係やアートも重要ですが、少しでも科学的で根拠のある診療技術を用いるように心掛けています。適切なトレーニングをこなし、技術を身に付けることで野球の打率が上がっていくのと似ていますね。

——最後に、皆さんにメッセージをいただけますか。

車に車検が必要なように、心にもメンテナンスは必要です。心理士や心療内科医もいますので、どの科を受診したら良いか分からなくても気軽に来てください。その方に合った支援を一緒に考えます。